

会長：柏手 茂 副会長：白石 慎太郎 幹事：米山 俊二 クラブ会報委員長：平井 敬規

例会日 毎週木曜日 12:15～13:30
会場 グランドホテル神奈中 2F
事務局 平塚市松風町 2-10 平塚商工会議所内
連絡先 0463-23-5955（事務局）

2022 年 6 月 2 日 第 3265 回 週報第 3265 号

本 日 6 月 2 日	会員数 62 名	対象者 62 名	出席者 49(49) 名	出席率 80.65 %			
前々回 5 月 19 日	会員数 62 名	対象者 62 名	出席者 45(45) 名	出席率 72.58 %	MUP 2 名	計 47 名	修正率 75.81 %

下期情報集会報告会

テーマ

平塚ロータリークラブ創立 65 周年迎えて
私がロータリーで学んだこと、そして未来への展望！

赤グループ 下平昭彦幹事
リーダー：下平昭彦
メンバー：鳥海会員／清水裕会員／葛西会員／原田会員／下平会員

鳥海衡一（ロータリー歴 27 年）、清水裕（12 年）、葛西敬（7 年）、下平昭彦（小田原 3 年、平塚 1 年 計 4 年）原田篤志（2 年）

27 年のベテランから 2 年の新人まで、幅広く意見が出ました。



○昔は女性会員が入会出来なかったし、例会の席も暗黙に決まっていたりしてルールが厳格だった。食事も、例会開始の 12 時 30 分から食べ始めたので時間が無く大変だった。また、卓話も 13 時に始めないと講師に失礼に当たると言われていて、時間が厳しかった。

○小田原ロータリーは、例会の出席率 80% 以上を目標としているので、出席率については厳しかった。

○食事時間を今の時間（12 時 15 分）にするには、早く提供してもらうためホテルとの調整や、理事会の説明等大変だったが実現できた。又、食事も他のクラブではお弁当のみが多いので、毎回、ホテルがサービスしてくれる平塚はいい。平塚は変化に対応して、議論しながら規則等も変えているところは良い。

○職業奉仕とは、ロータリーの基本を会員が理解をして、自ら活動を変えるように努力し、会員個人、会社、地域と良くなっていく循環出来る環境を作ることが大事である。自らの商売が地域に貢献していることも多く、新たに始めなくても今のままで職業奉仕になっている。

○平塚だけでなく他のクラブを知る事も大事なので、メークアップをして他のロータリークラブを知ることもよい。ロータリーのバッジが世界を繋げる事もある。

○会員数が多い方がクラブとして異業種交流などスケールメリットがあるので、やっぱり会員 60 名以上が理想なので、会員増強は必要。

○コロナ禍で看護師は大変な仕事なので看護学校の入学応募が減るかと思ったが、他人のためになりたいという理由で希望者が増えた。他人のために何かしてあげられる若い人が増えていれば未来に期待が出来る。

○利他の心、自分たちから変えて相手を変えられるようにしていく。

まとめ 4 つのテストが、ロータリー活動の基本になっているように思う。

～未来への展望～
・このような状況でも人を雇っていくので、繋がりを大事にしていきたい。
・例会での情報交換は必要、いろいろな人との関わり合いを大切にしていきたい。
・情報が早くなっているのでクラブの IT 化を推進。

橙グループ 菅沼久志幹事
リーダー：菅沼久志
メンバー：柏手会長／今村会員／秋山会員／嶋田会員／関口会員／森会員／青木会員

1. 今までに学んできたことや様々な活動から得られたこと等

（森会員）
＊ロータリーに参加し、人脈が広がった。
＊コロナ禍の中でも（前年の鳥山年度の間も）できることをやろうということでリモート例会の実施等いろいろ勉強になった。

（関口会員）
＊卓話でいろいろな話を聞けることは大きな財産。
＊会員、会員以外の方の卓話も普段仕事では得られない情報を得ることができる。ロータリーは同業ではない色々な人の話が聞ける。非常に勉強になる。

（今村会員）
＊ロータリーに入会した際、先輩の会員の方に『ロータリーは人生の道場』と言われた。
＊異業種の方がこれだけ集まっている親睦団体は他には



なく。また、年齢の幅も非常に広い。

(秋山会員)

*世代の幅が広く上の世代との交流ができ、意見を聞ける。親会が横浜RCなのも平塚の魅力で利点なので、メイクアップを上手く活用する。

(柏手会長)

*クラブの中でいろいろな仕事があり、その活動を通じて人脈ができる。クラブ内に留まらず地区等広がりを持つことも魅力。

*卓話はロータリーで無ければ聞けない話しも多数あり。
*地域とのつながり地域に何かできないかといったことで様々な事業の中で奉仕ができる。親睦との両立で活動ができる点は魅力。

*『ロータリーの義務と権利』について先輩会員から指導をもらった。ロータリーの義務は会費を納めること、ロータリーの友を読むこと。権利は例会への出席。

*例会への出席を通じ、経験の少ない会員の方についても親睦や奉仕の精神を感じ取ってもらいさまざまな事業に積極的に関与していつてもらい未来につなげて欲しい。

(その他)

*ロータリー活動では普段行けないような場所にも様々な方がいらっしゃるから行くことができ、いい経験ができた(増上寺の山門の上、首相官邸の官邸室や記者会見場、国会議事堂の食堂での食事等)

2. 今後の 70 周年に向け取り組んでみたいこと等

(嶋田会員)

*例会についてリアルだけでは、業務が多忙の中で参加できないケースもあり。コロナ禍で行った Zoom での例会開催は、参加者を増やす方法の 1 つと考える。そうした取り組みにより参加者を増やしロータリーを盛り上げていきたい。

(今村会員)

*平塚にロータリースタジアムを作りたい(当然、ラグビーも併用可能な)。

(秋山会員)

*新しい人が入ってくるようオンラインを取り入れて次に繋がるように…キャッシュレス募金等を取り入れていくことも一案。

(関口会員)

*時代に遅れることのないよう時代に合ったロータリーを続けていきたい。

(森会員)

*交換留学生で援助をした学生が台湾で企業の役員をやっているケースもある。台湾を訪問した際メイクアップで台湾のクラブに参加した際も会いに来てくれた。

*援助をしたクラブとのつながりを大事にしていくべき(金のつながりだけでなく)。*米山親善大使で中国を訪問時も中国の方は非常に恩を感じている。寄付だけではないつながり波紋(なみのもん)と言われるような繋がりを広げていきたい。

(柏手会長)

*「5 年後、10 年後どうあるべきか？」若い世代の人も参加しやすい会としなければならない。それにはオンライン等の活用も必要。

*会の運営上、会を大きくしていくことも大事。そのために会員も増やしていかないとけない。

*米山奨学金の制度も第二次世界大戦において日本がアジアにおいて迷惑をかけたことから現代の日本を正しく理解をしてもらうため、アジアの子供を中心に援助をし

た。そうした良いプログラムがある時代に合った奉仕活動として守っていききたい。

(菅沼)

*入会して約 1 年間。コロナ禍の中ではあるが、みなさんと交流を持たせていただき楽しいロータリー生活を送らせていただいている。

*先輩方からお聞きしていると、コロナ禍でなければできた様々な活動があり、羨ましくもあり楽しみにも感じる。

*「できることをやっつけていこう」という気持ちを皆が持ち前向きに取り組んでいる仲間に入らせていただいていることに感謝申し上げ。皆さんと知恵を出し合いながら取り組んでいきたい。

黄グループ 宮下幸雄幹事

リーダー：宮下幸雄

メンバー：又城会員／清水孝一会員／飯塚会員／片野会員／白石会員／瀬尾会員／鳥山会員／柳川信男会員

(1) 学んだこと

①仕組面(クラブ自体)

- ・国際大会のすばらしさを学んだ(世界そのものであり、世界を感じることができる)
- ・出会いの数が多いと人生豊かになる、その場がロータリーといえる。会員間だけでなく、ガバナーや有名人とも



会える

- ・会員(会費)はみな平等、であることを学んだ
- ・幹事になるとロータリーの流れが分かる

②人の面

- ・会員の年齢層が広くさまざまな職種の方々がいて、常識の差や色々な考えを学んだ

③その他

- ・湘南平塚についてを学び、地域に親しみがわいた
- ・ライオンズとの奉仕の違いを学んだ

(2) 未来へ向けて

70 周年以降を見据え、会員数を増やすべき

(3) 今後やりたいこと

平塚クラブのメンバーの卓話も聞きたい

緑グループ 志村拓幹事

リーダー：志村拓

メンバー：堀会員／江藤会員／木村会員／牧野会員／高橋会員／永瀬会員／平井会員／元吉会員／米山俊二会員／守屋会員／

◆各参加者からのコメント

元吉会員

- ・AG 補佐として他の地区やクラブを見る機会を得て、平塚の良さやしっかりとしたところを再認識(例：人材。誰が会長をやっても大丈夫なぐらい揃っている)。
- ・これからクラブ運営が厳しくなる時代、もしかすると淘汰されるクラブもあるかもしれない。そのような状況の中でどう平塚 RC が残っていくのか？新しいチャレンジをしていくという姿勢(例：ZOOM 例会等々)を持っている平塚の良いところを継続していくことだと考えている。



平井会員

・委員長等務めさせてもらい非常にいい勉強をさせてもらっている。直近の例ではポリオデーなども経験させてもらった。また、IT/クラブ会報委員長を今年度は務め、Web例会などにもチャレンジしている。

・次の世代にいかにかこの経験を引き継ぐか？いままでは勢いでなんとかするということも可能だったかもしれないが、これからの若い世代に伝えるにはやはり上手く伝えていく必要がある、これも勉強だと思って取り組みたい。

米山幹事

・いろいろな出会いがある。今年度は幹事、そして来年度も地区へと…、いろいろと学べる、それがロータリーの魅力。

・特に今年度は幹事としていろいろとクラブ全体を見るということをやらせてもらった、非常に勉強になった。

・平塚はクラブビジョンをまとめた、このビジョンをどう定着させそれをどう拡げていくのかが大切。

永瀬会員

・医師以外の方と出会うコトや機会、それ自体が大きな学び。ロータリーでの出会いや経験が「地域の人々を助けていく」という医師本来の仕事をするにもつながっている。

・地域医師会の幹部としても、医療に携わる方（薬剤師や他のドクター）などにもどんどんこういった機会を得ることを拡げていくよう取り組んでいけたらと思っている。

江藤会員

・AG補佐として、いままではクラブのこと、そして今年は地区のことを考えてやっている。新たな事業を作ったりと、いい経験と学びを得た。

・他の地区を見て分かったことも多く、一例として他のクラブでは海外での奉仕活動に積極的に取り組んでいることを知った。そういう事を平塚へどんどんフィードバックしていきたい。

高橋建二会員

・地区に行き分かったことも多い。一例として他クラブで会員増に工夫をして取り組んでるところなども知った。

・他クラブでは年会費を変更したところもあった、平塚もクラブの良さを守っていく「質」の部分を考えながらも、会員拡大を考えるべき、年会費に限らず変えるところは変えていくことも大切。

守屋会員（緑グループ幹事）

・入会してまだ2年。何を学んだか？ということではまだであるが、楽しみながら参加している。例えば、「ロータリーめし」というインスタ…”天井率”高し。

・短い1時間という例会中にコミュニケーションをとるのは難しいが、いろいろと勉強させてもらっている。

・他分野の方と触れ合える機会がロータリーの魅力。プライベートでの悩みも相談した経験などもあり、そういった時にロータリーの良さを実感した。

・一方で、地区は「濃密」さを感じる（いきなり「あれ」か？という感じ）。それは他クラブの皆さんと仲良くなる経験、また地区に出て、経験をしていきたい。

・（入会2年のため）クラブの未来をまだまだ考えるということではできないが、自分自身としてはもっとクラブに出れるようにしていきたい、来年度は親睦委員長でもあり、しっかりと取り組んでいく。

志村会員より

・企業会員という立場で、この湘南平塚という地域に仲間入りをさせていただききっかけを与えてくださっている。ロータリーという場は非常に貴重。

・また、自分のような企業会員を受け入れてくださっていること自体が、平塚の良さ魅力ではないかと感じている。

・自分も未来へということでもまだまだ語れる立場ではないが、自分が企業会員として得たこの機会や経験を、後ろに続く当社メンバーにしっかりと残していくことが大切だと思っている（DNAをつないでいく）。

・そのためにも、自分自身や自分の会社が持っている経験やノウハウなどを限られた時間であっても全力でこのクラブや平塚という土地に残していきたい。

◆そのほかフリーな意見交換の中で出た主なご意見

・サステナブル&インクルージョンなクラブ運営を目指すため、会員の質も量も幅広くしていくことを考えていけないか？

例①：医療系の方の入会ハードルを下げるために、例会の時間を工夫したり夜間例会を取り入れるなど

例②：入会しやすくするため会費の検討をする。一方で、会員の質もバランスを考えたり、財政面でのスリム化に向けた改善や見直しにも切り込んでいけないか（大きくコストを使っている項目のシェイプアップなど）

・ロータリーとは、結局のところ「会員のみなさんが楽しい場であること（究極の社交場?）」。もっと楽しめる雰囲気や工夫が大切！

◆メンバー同士の意見交換を受けた総括

牧野会員より

・ロータリで自分が経験したことから思うのは、ロータリの歌である「奉仕の理想」この歌詞がすべてだと感じる。しっかりと歌詞の意味するところを理解し感じてもらえればいいのではないかな。

・そしてアクションするときは、行動規範である「4つのテスト」。これがしっかりとできれば良いのだと思う。

◆志村会員より感想

みなさんとの意見交換の中から、ロータリークラブというのはクラブや地区での活動を通じ、幅広く経験・学びを得ることができる「成長させてくれる場」であると感じました。そして会員ひとひとりが得た学び経験を、クラブやそして平塚という地域にフィードバックしていくことの大切さも再認識できました。

そのための鍵となるのは、このクラブやクラブの事業を会員のみなさんが「楽しんでいく」「積極的にかかわっていく」ことだと思いますし、そういった仲間を増やすためにも、クラブを良くしていく見直しなど、変革に恐れずにチャレンジしていくことが未来へつながっていくのではないかと思います。



緑グループの様子

青グループ 大島圭吾幹事

リーダー：大島圭吾

メンバー：相山会員／杉山会員／高橋賢二会員／升水会員／柳川正人会員／山本会員／事務局吉野

皆さんのご意見を述べます。○地元経営者が奉仕活動のために集まっていることに正直びっくりした。自分たちサラリーマン会員にも分け隔てなく良くしてくれて感謝。我々は転職しようとせつかくの関係が途切れてしまうのが勿体ない。(転職後も) 関わり合いを持ちながら、ご縁を繋げていきたい。



○JC や YEG に所属していた人は抵抗が少ないだろうが、自分はそういった経験がなかったが、諸先輩方に可愛がっていただきお世話になった。それもあって入って良かったと思ってもらえるように新入会委員のフォローが大事で、孤立して辞めてしまうのは損失だと思っている。(ロータリー活動の基本は) 例会に出ること。入会の浅い会員にも何らかの役を付けて、仲間意識を持たせると良い。

○ロータリーの奉仕は単にお金を出すことではなく、ゴミ拾いをしたりマラソン大会を運営したり自身の体を使って活動を行うこと。それによって日本人に少ない奉仕の精神を養うことが出来る。奉仕は行動で示す、やり続けることが大事。またそういったことを知れたのが財産。

○ロータリーでは出来る人が出来ることをやれば良いし、それを背中で見せるのも経験の継承。しかしジェネレーションが変わったので、その(引継ぎや経験の継承など)やり方は変えていって良いと思う。コロナ前は新旧の引継ぎ会をやっていたが、やらなくなってしまった。新旧の委員長が顔を合わせながら引継ぎする機会を設けるべき。

○専用の引継ぎサイトのような、前任者からの引継ぎのシステムがあると良いのでは。

○前任地のロータリーでは企業会員はなかなか馴染めず孤立してしまい、企業会員だけで集まってしまうことが多く、それが原因で例会に行かなくなり辞めてしまうことがあった。コミュニケーションを取れる機会があると嬉しい。

○皆さんとほとんど同意見です。

○ロータリーは JC や YEG と違い、いろいろな世代の方からフランクに声を掛けてもらえるのが魅力であり良さ。先輩方から自分の知らない平塚の歴史などを聞く事で、学びや今後の方向性を決める参考になっている。

○元々の平塚の人間ばかりでなく、企業会員や新入会員が新しい風を吹き込んでくれるのは会にとって良いこと。皆さんロータリークラブには自分の意思で入ったと思う。それなら積極的に参加しなければいけない。例会に参加しないことには始まらない。まずは例会に参加し、そこに居ることが大事。普段から世代や年齢を越えて交流をする、それがロータリークラブの価値。

紫グループ 市川 雅範幹事

リーダー：市川雅範

メンバー：松本会員／小野会員／清水雅広会員／鈴木成一会員／常盤会員／成瀬会員／山口会員／下里会員

紫グループでは、5月26日(木)にスターモール商店街の常盤さんの店舗の裏にある『お好み・鉄板焼き「みくに」』にて開催しました。清水会長エレクトをはじめ、レジェンドの成瀬さん、常盤さん、小野さん、松本さん、山口さん、鈴木さん、そして新入会員の下里さんと総勢9名の大変多くのメンバーに参加をいただき、世代の垣根を超えて親睦を深める貴重な時間を過ごさせていただきました。今回のテーマ「私がロータリーで学んだ事、そして未来への展望！」に対するメンバーの意見ですが、まず、「ロータリーで学んだこと」については、



・人生を謳歌している人が大変多く、楽しく生きること学んだ。
・バイタリティ溢れる先輩が多く、パワーをもらえ、これからの人生に役立つ。
・出会い、友情、繋がりの大切さを学んだ。
・ロータリーには定年や卒業など年齢に上限がないため、色々な世代・年代の方の考え方を学べる。また、ロータリーは異業種の交流の場でもあり、様々な職種の人の考え方を学べる。
・地区の委員長などをやると平塚にとどまらない人の繋がりができ、幅広い学びがある。また、全国や世界に仲間ができ、色々な情報を学べる。
・サラリーマンではなかなか体験・学べないことがロータリーにはある。といった親睦・友情に関する意見を非常に多くいただきました。

次に、「未来への展望」ですけれども、
・人脈を更に広げ、その人脈を生かした活動をしていきたい。
・平塚ロータリーでポストや役割を担う中で、やりがいを感じていきたい。
・絶えず学べるのがロータリーなので、自身を成長させ続けたい。
・地区・全国・世界へと積極的に出ていくことで、幅広い学びが期待できるのがロータリーであり、メンバー全員に積極的に参画してほしい。など、積極的なご意見を非常に多くいただきました。

次に、「未来への展望」ですけれども、

・人脈を更に広げ、その人脈を生かした活動をしていきたい。
・平塚ロータリーでポストや役割を担う中で、やりがいを感じていきたい。
・絶えず学べるのがロータリーなので、自身を成長させ続けたい。
・地区・全国・世界へと積極的に出ていくことで、幅広い学びが期待できるのがロータリーであり、メンバー全員に積極的に参画してほしい。など、積極的なご意見を非常に多くいただきました。

今回、テーマに沿って、クラブビジョン声明のリーフレットをメンバーにお配りして情報交換をさせていただきましたが、リーフレットでも整理させていることですが、積極的・効果的な奉仕活動を行っていくうえでは、会員相互の親睦を深めていくことが大切であり、その親睦・友情を世代・年齢、クラブ内外を問わず広げていくことが大変重要であるというまとめになりました。また、そうした活動・行動を通じて、自分自身の人生の充実・豊かさにすべて帰ってくることもなだと改めて思うことができました。

最後に、私ごとになりますが、平塚ロータリークラブに入会させていただき、ちょうど1年が経過するところになります。コロナ禍で活動に制約がある中で、今回情報集会紫グループの幹事という大役を担わせていただき、メンバーにも恵まれ、大変貴重な体験をさせていただきました。本当にありがとうございました。



会長より誕生日祝いを受け取られた片野会員

ポール・ハリス・フェロー認証状を
会長より受け取られた米山範明会員

幹事報告

◎今年度の例会も残り3回となりました。

次年度の会員名簿で変更のある会員は至急事務局までご連絡をお願い致します。

◎本日 18 時 30 分より平塚商工会議所の第 3 会議室にて第 4 回長期計画委員会が開催されますので、委員の皆様はお集まりください。

◎先週ご連絡いたしました、6 月の例会が一部変更となりました。

来週6/9は活動計画書では会長卓話でしたが、地区国際奉仕委員会 副委員長の高木直之様の卓話に変更となりました。会長卓話は6/23（木）12時30分点鐘となります。お間違えの無いようお願いいたします。

委員会報告

○親睦委員会 瀬尾委員長

6月16日に新会員歓迎会を開催いたします。コロナの感染拡大も収まっていることから、久々に夜間例会としてお酒も解禁したいと思います。皆さんで楽しい歓迎会となるように親睦委員会として準備を行います。なお本日、出欠席の確認を回覧させていただいておりますのでご回答をお願いいたします。

○升水会員より七夕インフォメーション

七夕祭りの平塚RCの飾りへの協賛をお願いしていますが、うっかり忘れていらっしゃる方などいるかと思しますので後ほど個別に意向を確認させていただきますので協力のほどお願いいたします。

今週のお祝い

誕生日祝い・・・片野之万会員

結婚祝い・・・原田篤志会員、中谷啓秀会員

メイクアップ (MUP)

2名

又城雅弘会員、守屋宣成会員

本日のスマイル

23名と情報集会5グループ

ゲスト

1名

米山奨学生 馬 躍航さん

ビジター

0名

卓話・行事予定

6月 9日(木)	地区国際奉仕委員会 副委員長 高木直之様
6月16日(木)	新会員歓迎夜間例会
6月23日(木)	会長卓話
6月30日(木)	休会（定款による）

市内例会変更

現在ございません。

